

学校評議員・学校運営協議会委員の皆様を対象としたアンケートの集計結果について

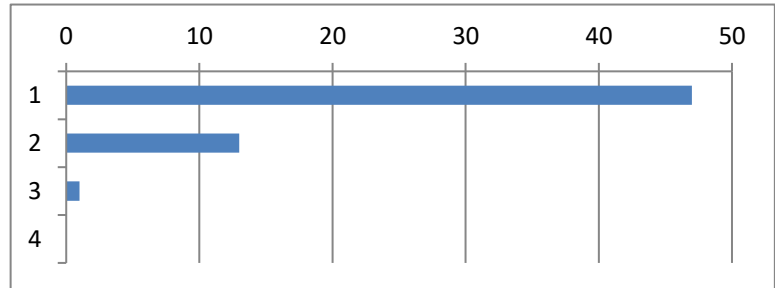
平成30年11月
熊野市教育委員会

1. 学校の教育活動についてお答えください。

(1) 学校は子どもを中心とした教育活動を行っていると思いますか。

* 単位は件数

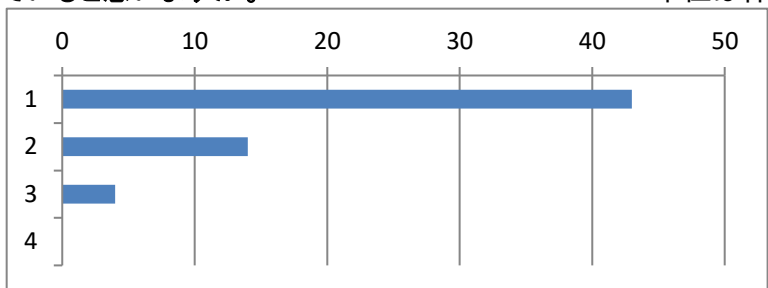
- ① 思う(47)
- ② どちらかといえば思う(13)
- ③ どちらかといえば思わない(1)
- ④ 思わない(0)



(2) 学校は地域住民と連携した教育活動を行っていると思いますか。

* 単位は件数

- ① 思う(43)
- ② どちらかといえば思う(14)
- ③ どちらかといえば思わない(4)
- ④ 思わない(0)

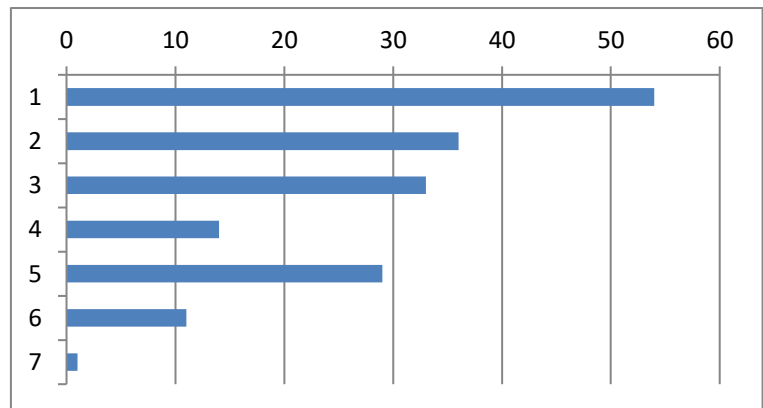


(3) 学校教育について、特に望むことは何ですか。

* 単位は件数

* 3つまで回答

- ① 学力向上の取組(54)
- ② 体力づくりの取組(36)
- ③ 人権教育の充実(33)
- ④ 防災教育の推進(14)
- ⑤ 地域と連携した教育の推進(29)
- ⑥ 保護者への情報提供(10)
- ⑦ その他(1)



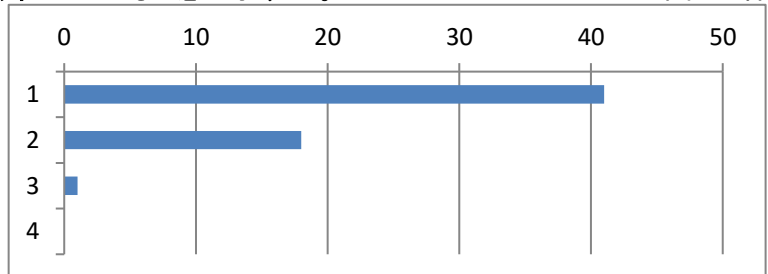
- ◆ その他の内容について
 - 基本的な人格の形成

2. いじめの問題についてお答えください。

(1) 学校はいじめの問題について、前向きに取り組んでいると思いますか。

* 単位は件数

- ① 思う(41)
- ② どちらかといえば思う(18)
- ③ どちらかといえば思わない(1)
- ④ 思わない(0)



(2)いじめの問題について、学校や教育委員会がどのような取組を行っていけばよいか、ご意見をお聞かせください。

①学校

- 早期の発見と対応。
- 現状のままでよいと思う。
- 子どもとしっかり話し合う。
- 個人面談の機会を多く持つ。
- 一人ひとりへのより一層の目配り。
- 子どもの声をしっかり受けとめる。
- 問題を共有して取り組んでください。
- いじめを発見しやすい体制づくりを行う。
- 子ども達の様子を常に見守ることが大事。
- 学校では、充分取り組んでいると思います。
- 五郷地区は少人数で心配はしていません。
- 悪い時は、もっと叱ってもらっていいと思います。
- 常にいじめがないか、情報収集をしてもらいたい。
- いじめは必ずあるという認識で対応してもらいたい。
- どんな些細なことでも保護者との話し合いが必要だと思う。
- 先生からのヒアリング。匿名での目安箱的な物やってみる。
- 一人ひとりの行動、表情の変化、子どもの発言に気配りして頂く。
- 小さなサインを見逃さない。教員間の情報の共有、すばやい対応。
- ささいな事例も見逃さない。学校全体で取り組む。保護者にも周知。
- 子どものことをよく見てあげる。いじめはだめだとしっかり伝えること。
- すべてオープンにして全員で話すことが理想だけど、ケースによっては考える。
- 学校全体で取り組み、学校内だけでなく保護者会などにも相談する方がよいと思う。
- 客観的でしかわからず件数にとられず小さな「いじめ」の目を把握し未然に防ぐ対策。
- まず保護者、評議員に情報を伝達して欲しい。力不足ですが、みんなで守っていききたい。
- いじめの防止と早期発見に取り組み、いじめが起きていることがわかったらすぐに対処する。
- 一人ひとりが自分の人生に責任を持つことができるように育ててほしい⇨いろいろな活動を通して。
- 疑わしい事案やSOSらしき発信をキャッチしたら時間を置かず直ぐに保護者等との対策を講じる。
- 少人数学校でのいじめは表に出にくい部分もあると思うので、目配り気配りと小さな現象も見逃さない。
- 生徒の普段の行動を注視し、少しでも異常があれば父兄に情報提供を行う(学校だけの中で対応しない)
- きめ細やかな目配りと各家庭のコミュニケーションの強化を図っていじめの芽を早く摘み取る努力をお願いしたい。
- いじめについて各学級で話し合う、いじめる子、いじめられる子、いじめられた子供はどれだけ傷つか先生が教えてあげてほしい。
- いじめられた側は一生つらいトラウマになります。地元が嫌になるぐらい、先生に対しても嫌になります。学校が嫌になります。
- 今や裏アカウントを持ち、ますます、いじめを見つけにくくなった時代、巧妙に厭らしくなっています。いつも生徒をよく見ていくしかないと思います。
- いじめ被害を「重大事態」と判断するか否か、それが問題である。そのことについて、学校としての基準(?)認識(?)行動(?)対処(?)が全てであると思います。
- いじめをなくすことより、人が集まればなにがしかの「いじめ」は発生するものだと認め、あることを前提として、少なくとも小さく早く見つけられる体制を作ってほしい。
- 「いじめを許さない」という姿勢や教育も大切だが、他人の気持ちを理解することや自分を大切にすることも伝えていってもらいたい。見守りは言うまでもありません。
- 助けてほしい子どもがSOS出しやすいようにアンケートを頻繁にとってほしい。周りに困っている子がいるのを知っているとかが廻りからも知らせるように。今もアンケートがあるらしいが、もっと頻繁に。
- 毎日の児童の様子を見て、いつもと変わったところがないか、様子がおかしいのではと思った時にいじめにあっているのではないかと先生方で気をつけていじめのない学校にしていきたいと思っています。
- 近年ではネットいじめが多くなり、表に出にくく陰湿かつ深刻化していると聞きます。学校だけでは発見が極めて難しくなっていると思います。日頃より子どもたちの声を聞き保護者の意見に耳を傾け、生徒たちが主体的に参画しながら防止に向け議論し実行するような取り組みを図っていただきたいと思っています。

②教育委員会

- 学校への支援。
- 生徒へのアンケートの実施。
- 生徒と保護者の間に入って考える。
- 学校との連携をより深くしてほしい。
- 学校の意見も十分に聞くことが大事。
- 学校現場からの情報収集しやすい環境を。
- 柔軟性のある教育者の育成、採用の取組。
- いつの時でも学校現場と同じスタンスで対応を！
- 隠さない。学校からの相談がしやすい雰囲気をも！
- 今の社会状況にもあるのではないかと思います。
- いじめがあった場合、速やかに発表してもらいたい。
- 各学校の状態をより早く知り、速やかに決断してください。
- いじめの問題は人権の問題であり、普段より各学校と密接に関わる。
- 学校との連携を密にし、いじめを許さず、子どもたちを守ってほしいです。
- 全国の取組はいつでも事件が起こってからあやまるだけではないかと思う。
- ラインやSNS等のいじめの問題もあるので、学校でスマホ等の使い方を指導する。
- 情報が入り次第、各学校は勿論、一般にも知らせたい。(程度もあると思うが)
- 先生の仕事の量が多いと思う。現場の声をよく聞いて先生任せにせず解決してください。
- 児童生徒へのアンケートをしていると思うが、「いじめがあった」ではなく「嫌な思いをしたか」と問うてはどうか。
- いじめが起きた時には、事実関係をはっきりさせる為の調査を行い、結果をいじめられた子・家族に知らせる。
- 教育の目標を教師一人一人が確立して推進していくよう指導助言。学習の場を提供(教師・保護者・地域住民)。
- 困ってる親も子供ももう少し気楽に相談できるような仕組みが欲しい。カウンセラーの先生に電話連絡できるような。
- よく問題が起きると、第三者委員会を設置するが、その公平性、中立性を確保する基準作りが重要であると思います。
- 定期的な全校長先生による情報交換及び事が起こった際、全員で対応策を検討する会の設置(個別に対応せず全校で共有)
- 保護者などの意見、苦情などに取り組んでいるのは良いと思いますが、教育委員会としてのモラルを一本化するなどして欲しいです。
- 教職員をゆとりを持って児童たちと向き合ってもらえる様、人材(SCも含む)の確保や職員研修などをお願いしたい。
- 各学校へいじめについての発見の仕方などについて講演・勉強会などをしていじめが早期に見つけられるようにしてあげてほしいと思います。
- 先生たちが 子ども一人ひとりとしっかり向き合えるように先生たちに時間の余裕を作ってあげてほしいです。先生たち、あまりに忙しそう…。
- いじめは大人がしてはいけないものと教えていかなければいけない課題。決して子供の前で悪口やけなすようなことはしては(言っては)いけない。
- 根絶なんて全然考えられない。それよりも学校で何かあった場合に隠蔽せずにきちんと対応し速やかな原因究明に徹することが大事、真摯に！
- 現場との意見交換等をしっかり行い、誰にでも出きる難しくないいじめ対策を確立して下さい。かくし事のない開かれた委員会にしてください。
- 子どもの危機は社会問題ということを前提に問題を抱え込み苦しむことがないよう、子どもを取り巻く家庭や学校、関係機関、地域が連携し、子ども達、先生方も元気に過ごせる学び舎となることを願います。
- 道徳教育のいいテーマだと思う。いじめに対して見すごさないクラスメートの勇気とは、いじめている子が「信念の暴走を一度思いとどめる」勇気とは、いじめられっ子のいじめられても自己を肯定できる勇気とはを考える時間に。答えを出すことより問いかける時間を多くしてほしい。